

第22回災害対策本部員会議での知事の主な発言

1. 会議冒頭の発言

- 本日14時時点で、お亡くなりになった方は、計222名となった。そして、災害時における死者の氏名等の公表については、本日からご遺族と連絡を取り始めたところであり、同意が得られた23名の方を、後ほど18時より、公表する。
- 今のフェーズは、災害関連死を防ぐため、
 - ・ 1. 5次避難所や2次避難所等への移送と、
 - ・ 孤立集落の避難者を丸ごと金沢市以南の避難所に移送するミッション、この2つの面からの取り組みを加速させている。全力で取り組んでほしい。
- 1. 5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター・産業展示館2号館）については、本日14時時点で239人を受け入れている。特に、医師や看護師、保育士など専門ボランティアの方々に被災者のケアを担っていただいております。心より感謝申し上げます。

一方、介護を要する避難者が増加しており、国には、介護職員やケアマネなど、専門スタッフの大幅な増強をお願いしたい。どこにどういう状況の人がいるのかという情報がないと、送り出す側もスタッフを集めることができないので、マッチングを丁寧をお願いしたい。

- ホテル・旅館への2次避難については、特に甚大な被害を受けた能登の6市町の被災者が優先となっている

が、6市町以外にも、住居の全半壊や断水等により、避難所で不自由な生活を強いられている被災者がいる。ホテル・旅館での受け入れに配慮してほしい。

また、昨日開設した、2次避難先との無料マッチングダイヤルについては、多数の問い合わせにより、「回線がつながりにくい」といった声をいただいたことから、本日、電話回線を15回線から20回線に増やした。近日中に30回線まで拡大し、体制強化を図る。

- 被災地でのボランティアについても、安全の確保、被災地のニーズを踏まえたもの、自立型であることを前提としつつ、どのエリアに、いつ頃から入っていただくか、検討を進める段階に入っている。道路の復旧等のインフラの状況も見極めつつ、具体の検討をお願いしたい。当初より、支援いただいている被災地での専門ボランティアの皆さんには、大変素晴らしい活躍をいただいております、感謝申し上げます。

2. 会議最後の指示事項

- 引き続き、被災地からの1. 5次避難所・2次避難所等への移送に加え、孤立集落の避難者を丸ごと移送するという、2つのミッションから取り組みを加速してほしい。天候にも影響されるので、天候をよく見て実施してほしい。
- この際、特に、介護を要する被災者が思いのほか多いという実態をお聞きしている。高齢者施設等での受け入れも必要となっているが、人的・施設的な課題もあるため、国には、より強力な支援をお願いしたい。被災地には在宅で介護をする人、される人がいる。これらの人の支援をお願いしたい。

- 被災者に今後の見通しを持っていただくためには、道路・水道・電気・通信のインフラ4点セットの復旧見通しを地域ごとに示すことが重要である。国・県・関係機関・市町の関係者が連携して、情報を共有し、作業を進めてほしい。
- 被災地でのボランティアの受け入れについても、検討を急いでください。

また、ボランティアによって、被災者の力を引き出すような方向に持っていければ素晴らしい。例えば、ボランティアの方と被災者が一緒になって避難所の掃除をするなど、被災者が自立に向かう環境を作り出すような方向で検討してほしい。

- 昨日、県庁における被災者の皆さん向けの相談窓口の電話番号一覧をお示ししたが、ぜひ、こうした周知に基づき、お一人お一人の困りごとに寄り添った丁寧な対応をお願いしたい。